

平成 24 年度第 3 回日進市地域公共交通会議 議事録

日 時 平成 25 年 2 月 1 日 (金) 午後 1 時 30 分から
 場 所 日進市役所本庁舎 4 階第 1 会議室
 出 席 者 石川和美 (委員)、武田敏弘 (委員)、松岡坂重 (委員)、三輪洋子 (委員)、
 水野利子 (委員)、竹下啓 (委員)、大竹弘眞 (委員)、松本幸正 (会長)、
 都築基雄 (副会長)、仲龍典 (副会長)、長崎三千男 (委員)、加藤直樹 (委員)、
 林由紀夫 (委員)、加納祐司 (委員)、柴山卓也 (代理出席)、伊藤孝明 (代理出席)
 欠 席 者 小塚みね子 (委員)、鈴村義尊 (委員)、永山明光 (委員)、小林宏 (委員)、
 西尾和晴 (委員)、吉橋一典 (委員)

事 務 局 市民生活部生活安全課
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 あり (6 名)
 報 告 事 項 (1) 平成 24 年度第 3 期までの運行実績について
 (2) 個別課題への対応について
 ～平成 24 年 4 月から 9 月までに実施したもの～
 (3) 個別課題への対応について
 ～平成 24 年 10 月から 12 月までに実施したもの～

議 題 (1) 高齢者定期券の期間延長について
 (2) くるりんばすの見直し案について

そ の 他

発 言 者	発 言 要 旨
	1 開会
事 務 局	あいさつ (生活安全課長)
会 長	傍聴者が 6 名お見えになりますが許可してよろしいでしょうか。
	(異議なし)
会 長	それでは、入室してください。
	(傍聴者入室)
	2 会長あいさつ
会 長	前回の会議でこの会議で審議していただきました年末運行が試行されました。まさに地域公共交通会議が役割を果たした一例であると言えます。この会議での決定が実行に移っていったことで、市民の皆さんの利便性が向上しました。この会議で決定することには責任がある、と言うことを改めて感じました。委員の皆様には、利便性向上のため、それぞれの立場から忌憚のないご意見をいただくとともに、その責任を感じていただきながらご検討をお願いいたします。

発 言 者	発 言 要 旨
事 務 局	それでは、会長に議事進行をお渡しします。
会 長	議事録署名者を順番により指名します。今回は都築委員と長崎委員、お願いします。
(報告事項)	
会 長	では、報告事項がございます。(1)現在の運行状況について、及び(2)個別課題の対応について、一括して事務局よりご説明をお願いいたします。
事 務 局	<p>まず(1)に関して、平成24年4月から12月までの9か月間の運行状況について報告いたします。</p> <p>第1期から第3期まで(4月から12月まで)の利用者数は、393,069人であり、運賃収入は29,116,300円でした。</p>
事 務 局	<p>過去3年間の実績から、平成24年度の利用者数は50万人程度、運賃収入は3,667千円程度であると予想されます。</p> <p>定期を除く運賃収入において、manaca(マナカ)構成率は約47%でした。</p> <p>続いて(2)個別課題の対応について、平成24年12月までのくるりんばすに関する取り組みについてご報告させていただきます。</p> <p>まず、車内有料広告ですが、24年度については全て応募をいただいたため募集を締め切りましたので、現時点での実績について報告いたします。本年度は、10件・42枠の申し込みがあり、収入額は、497,000円となりました。来年度の募集につきましては、本年度の申込者への案内やホームページ及び「広報にっしん」での周知により行います。</p> <p>次にコミたん、ポケット版時刻表について、昨年11月に実施した利用者アンケート調査の結果からご報告します。コミたんの方は、なかなか周知が進まず、90%以上が「知らない」という結果になりましたが、ポケット版時刻表は車内への設置等、4,000枚以上を配布できたことにより、80%以上の認知度となりました。</p> <p>コミたんにつきましては、更なる周知につとめてまいります。またポケット版時刻表につきましては、高齢者の「わかりにくい」の割合が非高齢者の10倍となっていることから、本会議でもご指摘のありました文字の大きさの問題があると考えています。現在、次回の印刷に向けて改良を加えているところでございます。</p>
事 務 局	<p>まず、文字を大きくするために、不要な部分を無くすことが考えられます。</p> <p>「ご利用案内」については、大きい時刻表に書いてあるので、慣れた方には不要とのご意見もありますが、車内で配布し、初めての利用者の手にも取られることから、「ご利用案内」は必要と考えています。</p> <p>また、「わすれもの・運行状況の問い合わせ」については、どこに電話して良いのかわかりにくい、とのご意見を多くいただいたため、両面に大きく記載しています。そこで、今回は、時刻表部分の調整によって、文字を大きくしたいと考えています。</p> <p>改良について、A案、B案としてお示ししました。A案では、現行のデザインを基本に、時刻表を端まで引きのばして、およそ1割増しの大きさにしました。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
事 務 局	<p>また、鉄道駅などを強調するなどして、より見やすくできたらと考えています。</p> <p>B案は、現行で平日と休日で裏表に分かれていた時刻表をまとめたものです。表面に左回り、裏面に右回りを載せて、休日ダイヤを赤字の括弧書きで記載しています。A案に比べて、文字は大きくなりますが、デザイン変更に伴って混乱も予想されます。本日の会議で、A案、B案どちらかに決める趣旨ではありませんが、改良のためのたたき台とお考えいただいて結構です。</p> <p>次に、くるりんばすを利用したPR映像作品「くるりん日進」の制作について、予定していた全5回が完成し、全て公開となっております。にぎわい交流館に設置されているテレビでも上映されていますので、機会がございましたら是非ご覧ください。</p> <p>最後に、(3) 年末試行運行について、実施結果をご報告いたします。</p> <p>12月の休日の平均利用者数と比べて、29日(土)は72%の利用があり、30日(日)は43%の利用がありました。また、利用者の約半数が高齢者定期券・無料パスカードでの利用でした。</p>
会 長	はい、ありがとうございます。ご質問がございましたらいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
会 長	利用者数は全体としては増加しているということでしょうか。
事 務 局	そのとおりです。
会 長	50万人、という声が聞こえましたが、過去の日進市ではまだ50万人には到達していません。これは記念すべき数字だと思いますが、何か行う予定はございますか？
事 務 局	平成26年度が市制20周年ということなので、これにあわせて何かできないか企画しているところです。
会 長	年末試行運行については如何でしたでしょうか。
事 務 局	本日欠席の委員から非常にありがたい、という声を聞いている。来年度もぜひ実施してもらいたい、という意見をお預かりしています。
委 員	非常に良いことをやっていただけた、という声とあわせて知らない人が多い、という声がありました。来年度に実施していただく場合には、早い時期から周知活動に力を入れていただければ、さらに多くの方に利用していただけるのではと思います。
(議 題)	
会 長	それでは、議題に入ります。【議題】(1) 高齢者定期券の期間延長について、事務局からご説明をお願いします。
事 務 局	<p>議題の(1) 高齢者定期券の期間延長についての説明をいたします。</p> <p>高齢者定期券の期間延長を検討するに当たり、中部運輸局管内の自治体のバス運賃・定期等の比較を行いました。集計対象として、中部運輸局管内の各県における本市と同規模帯である人口5万から10万人の都市と、愛知県内においてはさらに人口10万から20万人の都市を含めました。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
事 務 局	<p>これは、前回の会議の際にお示しした資料にございましたとおり、本市のサービス水準が既に 10 万人以上の都市と同レベルにあるとの判断によるものです。</p> <p>まず、運賃制度について、ですが、集計対象のうちコミュニティバスを運行している自治体が本市を含め 40 市町あり、このうち 100 円で運行している団体が 27 団体あり、全体の 67.5%と最も多くなっています。</p> <p>詳しく見ていきますと、愛知県内の団体は、ほとんどが 100 円の均一運賃による運行となっており、一部中山間地域などで対キロ運賃やゾーン運賃が導入されていることが分かります。</p> <p>続いて、定期券の導入状況の説明をいたします。集計対象のうち、定期券を導入している市町は 15 団体であり、そのうち複数月の定期券種を設定している団体は 10 団体でした。</p> <p>詳しく見ると、15 団体のうち 8 団体は愛知県外の都市であり、その全てで複数月定期券を発行しています。また、その運賃制度は、対キロ運賃のものが多くなっています。</p> <p>愛知県内の定期券の導入状況は、集計対象のうち本市を含めた 21 市町中 8 団体となっており、複数月定期券を発行している団体は 1 団体のみです。ただし、東浦町では、1 か月定期券を最大 3 か月分購入できるという、実質 3 か月定期に近い制度を導入しています。</p>
事 務 局	<p>続いて、くるりんばす利用者の定期券利用に関する集計について説明します。</p> <p>こちらは、松本先生の研究室で例年行っていたらいてる乗降調査及びアンケートの結果より、どのくらいの人がどのような形で実際に定期券を利用されているのかを示したものとなっています。</p> <p>高齢者の利用者における定期券利用者の割合は、調査年によってばらつきはあるものの、概ね 4 割から 5 割となっています。</p> <p>また、アンケート結果から高齢者の定期券非利用者と利用者の利用頻度を比較すると、定期券利用者では平均約 80%が週 3 日以上の利用、すなわち定期券で元が取れる利用であるのに対し、定期券非利用者では 20%から 30%となっており、定期券利用者の大半は、定期券のメリットを享受していることが分かります。</p> <p>定期券非利用者の支払方法をみると、週 3 日以上の利用では「現金」「マネカ」の合計と「無料対象者」はほぼ半々であるのに対し、週 3 日未満では「現金」「マネカ」の合計が 80%以上となり、「無料対象者」は 10%程度となっています。</p> <p>このことから、高齢者の定期非利用者は、無料対象者もしくは利用頻度が少なく定期券利用のメリットがない方が大半を占めていることがわかります。</p> <p>市役所及び中央線の赤池駅と長久手古戦場駅バス停の利用状況について見ますと、定期券の利用者、非利用者に関わらず、半数以上の方が定期券販売バス停を利用しないバス利用を行っていることがわかります。</p> <p>このことから、定期券購入のために市役所及び各バス停に来ている方が相当数お見えであることが推測されます。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
事 務 局	<p>以上の結果及び前回の会議での議論の結果を総合して、事務局としましては、高齢者定期券について、期間延長によるサービス向上のメリットがあるとの判断をいたしました。</p> <p>現在の1か月1,000円の定期券に加えて3か月3,000円の定期券をにぎわい交流館限定で販売する、という案を提示いたします。</p> <p>これにつきましては、運行事業者である名鉄バス様とも協議させていただく中で、資料の案とさせていただきます。</p>
会 長	では委員の皆様からご意見・ご質問をいただきます。
委 員	1か月で3、4回の利用する人は、1回往復で200円として600～800円で定期券を買うメリットがないので、2か月で1,000円にしてほしいという声があります。
委 員	初回の案も3か月3,000円ということでしたが、他市町の比較は色々と条件が違うので参考にならないのではないのでしょうか。
事 務 局	1か月1,000円は平成16年度から65歳以上の高齢者が有料化となるのにあわせて実施しているものですので、1か月が1,000円であることについては妥当性があると考えています。そのうえで、今回はアンケート調査の結果から、毎月市役所まで定期券を買いに行くのは大変なので複数月の定期券を発行してほしい、という声が寄せられたことから、3か月の定期券を発行することでサービスが向上するものと考えています。
委 員	これは3か月に延長することでサービスは向上するというのですが、料金のことについては言及されていない、ということですね？
事 務 局	はい、そのとおりです。今回検討に当たって参考としました事例は、東浦町で実施している1か月定期券を最大3か月分、つまり2か月先までの定期券を購入できるという制度です。これについて名鉄バスさんとも協議しましたところ、先売り、というのは取り扱いの上で難しいということであくまで期間の長い定期券ということになりました。
委 員	<p>前回の会議でもありましたが、元々安い定期券なのでこれをさらに割引くというのは難しい、というのはわかります。</p> <p>危険負担、ということについては、払戻しはしないことを明記する、ということで対応されていると思います。</p>
委 員	1か月に3、4回の乗車の方には定期券は不要と思います。
会 長	<p>1か月に3、4回の利用で定期券を買っている人がいる、としたら、その理由は小銭を取り出すのが大変、ということもあると考えられると思います。</p> <p>これは資料からもわかるのですが、実は高齢者の定期券の利用は減っていき、その代わり増えているのがmanaca（交通系ICカード）の利用です。</p> <p>現金での利用の負担を軽減してくれているのがICカードであり、これはバリアフリーの一環であるともいえます。定期券や定期券の割引による利用促進というよりはICカードの普及を促すということも重要ではないでしょうか。</p>
委 員	バス利用の現状について、平日昼間の利用の8割がICカードとなっています。

発 言 者	発 言 要 旨
委 員	今年度、他の自治体でバスの乗り方教室を実施しまして、ＩＣカードの使い方、バスに乗るときに具体的にどのように使うのかということをご説明させていただいています。その中では、カードケースの中に入れてそのままタッチして利用できるということをご存じない方もたくさんお見えです。また、ＩＣカードを持つことで何かのついでに利用する、というケースも増えてきているようです。
会 長	市ではＩＣカードの周知について何か行っていますでしょうか
事 務 局	時刻表などに利用できる旨が記載されています。
委 員	ＩＣカードはプリペイドカードと異なり残金がカードを見てわからない。高齢者の方でチャージの仕方がわからないということで戸惑っているケースを見かけることがあります。降りるときに残金不足、ということになると結局小銭を出してということになってしまうのではないのでしょうか。
委 員	先日目にした事で、ＩＣカードを購入しましたが、カードを、切符を入れるところへ入れてしまい、今度はかざしてください、と言われて手をかざしてしまった、ということで、高齢者にはＩＣカードの使い方がなかなかわからないと言う方は多いと思います。
委 員	<p>周知にはまだまだ時間がかかることと思います。使い方のわかっている利用者から口伝えにより伝えていただくと効果があるのではないかと考えています。</p> <p>残額については、降車するときにタッチしてもらうときに良く見てもらうと、料金箱に残額が表示されています。</p> <p>料金不足の場合も、タッチした状態から積み増しができ、不足額を引いた残りが積み増しされることとなります。</p> <p>バスの場合は運転手がありますので、お問い合わせに対応ができると思います。駅の場合は、改札の内外に積み増しのできる精算機がありますので対応ができます。</p>
委 員	米野木駅にはそうした機械がなかったと思いますが。
委 員	券売とチャージの機能が一体となった機械となっているはずです。
委 員	<p>券売機にＩＣカードでも使えるという表示になっているのかという問題だと思います。そういう表示がない駅は確かにあります。また、残額については駅であれば改札を通過するときに残額が表示されますので確認できます。</p> <p>関東や関西ではＩＣカードの普及が進んでいますが、この地域では普及が遅れたため、まだ慣れていない、という方が多いと思います。また、これはmanacaにはない機能ですが、他の地方のＩＣカードでクレジット機能を持ったものであれば、チャージ残額がなくても引き落としして、後で精算、ということも可能です。</p> <p>また、券売機の中に入れて履歴を見ることができ、これで乗車履歴や残額を確認することもできます。</p>
委 員	定期券を持つ意味として、先程会長も言われましたが小銭の準備が要らないという安心感があると思います。ただ、高齢者定期券を3か月とすることで3,000円とすることは応分負担の原則としてみれば自然のことだと思います。

発 言 者	発 言 要 旨
委 員	<p>一方、3か月・6か月での割引率が設定されているものは、営業路線の話であって、コミュニティバスに馴染むものかどうかということについては、この会議で議論する必要があると思います。それは、自治体が行うコミュニティバスの場合、赤字運営が原則で平均2割程度の収支率であり、残りの8割は税金を投入しているわけです。そのため、そこに対して更なる割引率を設定するべきかと言うことについては皆さんで議論をしていただく必要がある、というわけです。</p> <p>長期にわたって市民の皆さんの足を確保するという観点からあまり大きな税負担を伴う場合、維持が困難になってくるという問題があります。</p> <p>これはどの市町でも同じ悩みですので、日進市では裕福だからこの程度の割引なら構わない、と言う形で市民の理解が得られるのであればよろしいかと思えます。逆に、日進市では無料対象者を定めていますが、バスの利用は誰でも同じ、という観点から無料の必要性について議論されている場合もございます。</p>
会 長	<p>manacaについては普及について関係者の皆様の一層のご努力をお願いいたします。</p>
委 員	<p>前回の会議でも3か月3,000円の定期を割引することについては納税者の方の理解が得られないということで反対いたしました。しかし、乗車回数が少ない人の利便性という点から回数券を導入してはどうかと思います。</p> <p>また、学生の通学用に割引のある定期券や回数券は導入できないでしょうか。</p>
事 務 局	<p>本市の定期券は高齢者有料化にあたり高齢者への対応として導入されたものですので、幅広い年齢層での定期券の設定は想定していません。</p>
会 長	<p>これについてはすぐに結論は難しいと思います。今後の課題として皆さんで議論していきたいと思えます。</p>
委 員	<p>manacaのポイント制について教えてもらえますか。</p>
委 員	<p>くるりんばすではmanacaのマイレージポイントには対応していません。これはコミュニティバスの負担が税金負担を前提にした料金であるため、この料金にさらにポイントを付加することはさらに割引するということですので、していない、ということです。これは先程の3か月3,000円をさらに割引するのかどうかという考え方に通じると思えます。</p>
委 員	<p>現在の形態に改編した際には、もっと乗車が伸びると言う前提であったという経緯もありますが、当時は市の財源も余裕があったと思えますが、徐々に厳しくなってきたこともあります。現在中学生以下は無料ですし、学生定期券と言う話もありましたが、これからは、料金体系、無料の対象者、年齢要件などについても、もう一度考えてみる時期ではないかと思えます。</p> <p>負の財産を後の世代に残すことはできませんので、そういう点からも今回の案は、負担としては相応と言えるのではないかと思えます。</p>
会 長	<p>今回の問題は、どこまで下げるべきか、と言うことだと思います。</p> <p>それは、8割は税負担でまかなわれており、多くの非利用者の方に理解していただくことができるか、ということが重要だと思います。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
委 員	3 か月ずっと元気で外に出られるかわからないのでこれに 3,000 円を出す、というのは考え難いのではないのでしょうか。高齢者にとってバスの中で小銭を取り出すことの負担の大きさは、若い人にはなかなか想像がつかないことだと思います。一口に高齢者と言っても 60 代、70 代、80 代で違っており、やはり定期券はあったほうが良いと思います。
会 長	<p>3 か月 3,000 円を一度に負担するのが大変であれば、今までどおり 1 か月 1,000 円で購入していただければよいわけです。これを月に 3 日しか使わないのもったいないから 500 円で、ということになると、今度は月に 1 日しか使わない人にはどうすればよいのでしょうか。結局、どこまで下げられるか、財源の問題と納税者の方の理解が得られる範囲の関係だと思います。</p> <p>また、運賃に関する満足度は非常に高く、不満という方は 0% です。やや不満で 3.5% です。こうした現状から利用者の多くの方は満足されている、と考えているべきだと思います。</p> <p>支払いが面倒と言う問題については、ICカードの利用があります。まだ普及していない、と言う問題はありますが、その点についてはご努力いただくということでクリアできると思います。</p>
委 員	3 か月 3,000 円は妥当だと思います。
委 員	くるりんばすをどうしたらもっとよくできるか、を考えている中から出てきた話だと思います。更なる割引については、意見としては理解できますが、現実を考えると難しいでしょう。
会 長	この内容について、よろしいでしょうか。
事 務 局	実施日が確定していないこと及び運輸局の委員が不在ということもあり、実施日を確定した段階で議決をいただく形でお願ひできますでしょうか。
会 長	法的な確認について必要があるということで、次回に議決とさせていただきます。
会 長	続いて、(2) くるりんばすの見直し案について、事務局からご説明をお願いします。
事 務 局	(2) くるりんばすの見直し案について、前回の会議で提出させていただきました内容の一部修正したもので、実施時期についての記述を修正しています。この内容で次年度以降の見直し作業を進めてまいりたいと考えております。
委 員	では委員の皆様からご意見・ご質問をいただきます。
委 員	<p>25 年度も年末運行ををするとして、取扱要領に記載の定期券の有効期限の例が記載されていますが、例だと 28 日まで、となっています。</p> <p>年末の期間は、定期券は有効になりますでしょうか。</p>
事 務 局	25 年度の運行について、現段階で確定していませんので修正をしておりません。確定後に修正を考えています。
(その他)	
会 長	その他はございますか

発 言 者	発 言 要 旨
事 務 局	名城大学の学生による利用者アンケート調査結果発表会を3月14日(木)に図書館1階視聴覚ホールで開催いたします。
委 員	折り込みチラシなどでの周知はありますか。
事 務 局	広報の中の「暮らしの情報」に掲載される予定です。
会 長	以上で終了となります。皆様のご協力に感謝します。
	(閉会 15時20分)